

合気道小林道場で住み込みを体験して
韓 麗琳



日本での仕事が今年八月からでもう決まっていました。そこでその前に一度内弟子研修を経験したいと思って道場長の弘明先生に連絡し誓約書を提出しました。許可していただいて本当にありがとうございます。私にとって今回は貴重な体験となりました。

私より先に道場で住み込んだ同級生は皆楽しそうに暮らしていたので、来る前は内弟子がこんなに大変だとは思いませんでした。特に最初の一週間、異国に来て体は全く違う環境を順応中に、前の週一回稽古の状態から毎日稽古にシフトして筋肉痛の上、睡眠不足で元気が出ませんでした。一緒に住み込んでいた内弟子半年以上の林先輩(笑)からいつも注意やアドバイスをもらって本当に助かりました。最初の一週間が経って体は段々慣れてきました。

内弟子前は稽古量が不足で何でも下手です。この一ヶ月間で各先生方と会員の方々より色々指導していただいて、自分の基本技での問題点や今の不足しているところが大体分かりました。特に小柳先生は私が一番辛い時に私の稽古の現状を詳しく分析してもらって改善方法までも出してもらいました。しかし技をやり直すことは想像より難しくてもっと時間が必要と思います。長野での仕事が始まったら仕事と合気道のバランスを取れるように何とかします。「合気道はまず相手を感じて相手までも守れる上に稽古するという武道だ」今回研修で再認識しました。けど、今の私は全くできていなく、体がいつも頭より先に動き始めます。腕力だとたまには効きますが、宏美さんのような美しく強い存在と稽古したら腕力だけではうまくいきません。いつも「力抜いて！リラックス！」って言われ、難しいですが、これからも意識を持って稽古します。



ちょうど7月13日は小林道場の一般審査で、朝稽古してから笠原先生と一緒に本部道場へ準備に駆けつけました。審査は整然として進行中、



見学の方は多くて側で見るだけでも緊張しました。ようやく審査が終わり、合格発表する時、皆息止めて自分の名前を待っている様子でした。ほとんどの人は最後にいい結果がでましたが、落ちた人もいます。残念ですが、これから必ず次

の審査に向けて必死に頑張ってもらいたいと思います。審査後、お祝い会とカラオケに参加し、一緒に飲んで笑って恥ずかしげもなく歌を歌って楽しめました。

日常の稽古以外は時々イベントもあります。例えば餃子パーティ、夏ですから暑気払い・スイカ大会も行いました。それに弘明先生一家と一緒に野球を見に行きました。中国では野球はあまり注目されていないので、こんなにでっかい東京ドームで試合が行われているなんて「すごいなあ、日本人はホンマに野球が好きだね」と思っています。応援席で盛り上がっている中でスポーツを観戦するのも初めてです。相手のチームが強敵ですが、私は応援席の人と一緒に一生懸命に応援できたので、負けたとしても私にとって素晴らしい体験でした。その夜は興奮が続いて眠れませんでした（笑）。



総師範は今年で八十一歳とご高齢ですが、よく時間を作って秩父の有名な三十四ヶ所のお寺の巡礼に行かれます。多くの方は車で回るようですが、総師範は最後まで歩いて巡ると決心したそうです。私が来る前にもう順番で二十八番まで巡ったとのことでしたが、それらのお寺が殆ど山の中と知り本当に驚きました。先生はやっぱり若い人達より元気ですね。内弟子は勝手にあちこちへ観光に行くのは駄目なのですが、私がいた一ヶ月間は殆ど毎週、総師範に連れられて巡礼に行きました。古道に従い、「熊出没注意」という看板もあって、怖かったりワクワクしたりして普通の観光よりおもしろかったです。先生と三十番まで付き合いました、最高温度三十五度ぐらいでも日光にあたりながら歩き、たまにカラスが空で「アアア！」と鳴いていました。先生はカラスがまるで「あの三人はバカバカバカだ」と言っているみたいと突っ込みして、三人ともお互いに目を合わせて笑いました。山登りは疲れましたが、毎回秩父駅近くの温泉で一時間お風呂に入ったり、大好きなカツ丼を食べたりして、満足してから帰りました。幸せでした。

一ヶ月間の内弟子生活は辛い時があって、楽しい時もあります。こんな体験一生忘れられません。

小林先生とご家族・指導員の先生方と会員に皆様、このそそっかしい私をお世話して下さい、本当にありがとうございました。

小林先生とご家族・指導員の先生方と会員に皆様、このそそっかしい私をお世話して下さい、本当にありがとうございました。

